

2024年4月7日 帰還は神の約束のすばらしさでした

旧約聖書ネヘミヤ記の前半はエルサレムの城壁再建、後半はエズラの律法公布と改革、そしてネヘミヤによる改革が記されています。敵による執拗な妨害の中で城壁の再建が進められます。サタンはサンバラテを用いて「この弱々しいユダヤ人は何をしている」と執拗にののしりました。トビヤは「彼らが築いている城壁は、狐一匹が上っても崩れるだろう」と…。

ところで、ネヘミヤの働きをスタートさせたペルシヤ王の好意(1～2章)は不思議です。ネヘミヤはペルシヤ王の勅令を得て王の代理(総督)としてエルサレムに来ました。

ネヘミヤが到着したとき、エズラがすでにエルサレムで13年を過ごしています。ペルシヤ王はエズラにユダヤ州の全権を与えました。勅令によって裁判権、財産没収、処刑などの権威をエズラに与え、莫大な経済的援助をもって祖国帰還を助けます。エズラ6:1～7:28

異邦人王の助け…これは、一般的にはキリスト者が好まないようです。私たちは「不信者は暗闇の子…」「不信者の王の助けなど借りずに信仰一筋に生きれば道は開けます!」と、明快に信仰の白黒をつけることが好きではないでしょうか。

Ⅱ歴代誌、エズラ記、ネヘミヤ記、エレミヤ記を読みますと、ペルシヤ王の勅令や経済的援助は神から出ています(Ⅱ歴代36:23)。慰めと希望に溢れたバビロン捕囚からの帰還は神の約束のすばらしさでした。ゆがんだ信仰心や聖書主義は「神がどのようにお働きになっているか」を考えることに弱すぎるのではないのでしょうか。私もそうなのですが、信仰を「自分の信仰心とか確信」に起きがちです。

ペルシヤ王の勅令や経済的援助は神から出ている恵み溢れる約束の真実さです。神を賛美しましょう。

「まことに、主はこう仰せられる。「バビロンに七十年の満ちるころ、わたしはあなたがたを顧み、あなたがたにわたしの幸いな約束を果たして、あなたがたをこの所に帰らせる。」エレミヤ 29:10

● 今日(4/7)は4月最初の日曜日です。会堂と家庭でオンライン結ばれていることを感謝いたします。健康のすぐれない兄弟、痛みの中にある兄弟に三の良きお支えをお祈りいたします。

● 今日の午後(2:00～3:30)は、月一度の青年会(契悟兄)・ハンナ会(三子代子姉)・主人会(西村兄)別による定例会ですから、会別責任者、お話し役の誠実なお働きを感謝します。各自昼食をご用意下さい。

● 来聖日(4/14)の礼拝後、会堂で聖餐式と4月度総会が行われます。「3月総会」の確認、質問、提案もできます。健康のすぐれない兄弟を除いて教会員はご出席下さい。欠席される方は「委任」を牧師にお伝え下さい【口頭あるいはメールで可】。

● 3月度の会計報告が印刷されていますからお受け取り下さい。

● 晋一兄と義岩兄によって「4～6月礼拝・奉仕予定」が立てられていますからお働きに感謝。三ヶ月の予定ですから、各自の予定や健康などで変更できます。各リーダーにお伝え下さい。

● 先聖日(3/31)は日曜学校イースター集会でした。SS児童、再来のお二人(父子)、青年クラス、壮年クラスご一緒。

● 今週の金土(4/12,13)、日曜学校教師会【高木兄】は下呂で「研修・交わり会」の予定です。

● マタイ家族(タルサ・オクラホマ)は、5月下旬に2～3週間の予定で来日(帰国)の予定ですから祝福を。

● 4/28(日)の午後、会堂内外の大掃除を行いますから参加のご計画を。昼食は教会で用意されます。後日、1F物置(2カ所)、3Fベランダの整理と不要品の廃棄を行います。

● 植物部(香佳姉)による、毎聖日と木曜、平日に、玄関前花々の手入れと玄関周辺清掃を感謝します。春になり新しい花が入っています。

● 来週月曜日(4/15)、東海、北陸地区牧師会【疋田師、加治佐師】が瀬戸教会であります。

● 4/28,29(日月)、カルバリの丘教会【藤沢幸人師】は「創立20年記念集会」です。「神様はどれだけ憐れみ深いお方なのでしょう。」(藤沢師)